

表 20 A 棟精密診断結果

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前) (kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低減 Fep	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	28.00	30.44	1.00	1.00	1.00	30.44	1.09
	1	50.59	51.00	1.00	1.00	1.00	51.00	1.01
Y	2	28.00	21.09	1.00	1.00	1.00	21.09	0.75
	1	50.59	21.89	1.00	1.00	1.00	21.89	0.43

表 21 B 棟精密診断結果

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前) (kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低減 Fep	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	28.00	24.51	1.00	1.00	1.00	24.51	0.88
	1	50.59	44.25	1.00	1.00	1.00	44.25	0.87
Y	2	28.00	16.65	1.00	1.00	1.00	16.65	0.59
	1	50.59	15.51	1.00	1.00	1.00	15.51	0.31

表 22 補強後 B 棟精密診断

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前) (kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低減 Fep	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	28.00	46.00	1.00	1.00	1.00	46.00	1.64
	1	50.59	78.53	1.00	1.00	1.00	78.53	1.55
Y	2	28.00	42.78	1.00	1.00	1.00	42.78	1.53
	1	50.59	79.25	1.00	1.00	1.00	79.25	1.57

「表」および「図」の番号は、最後に記した「成果報告書」に載っているものです。

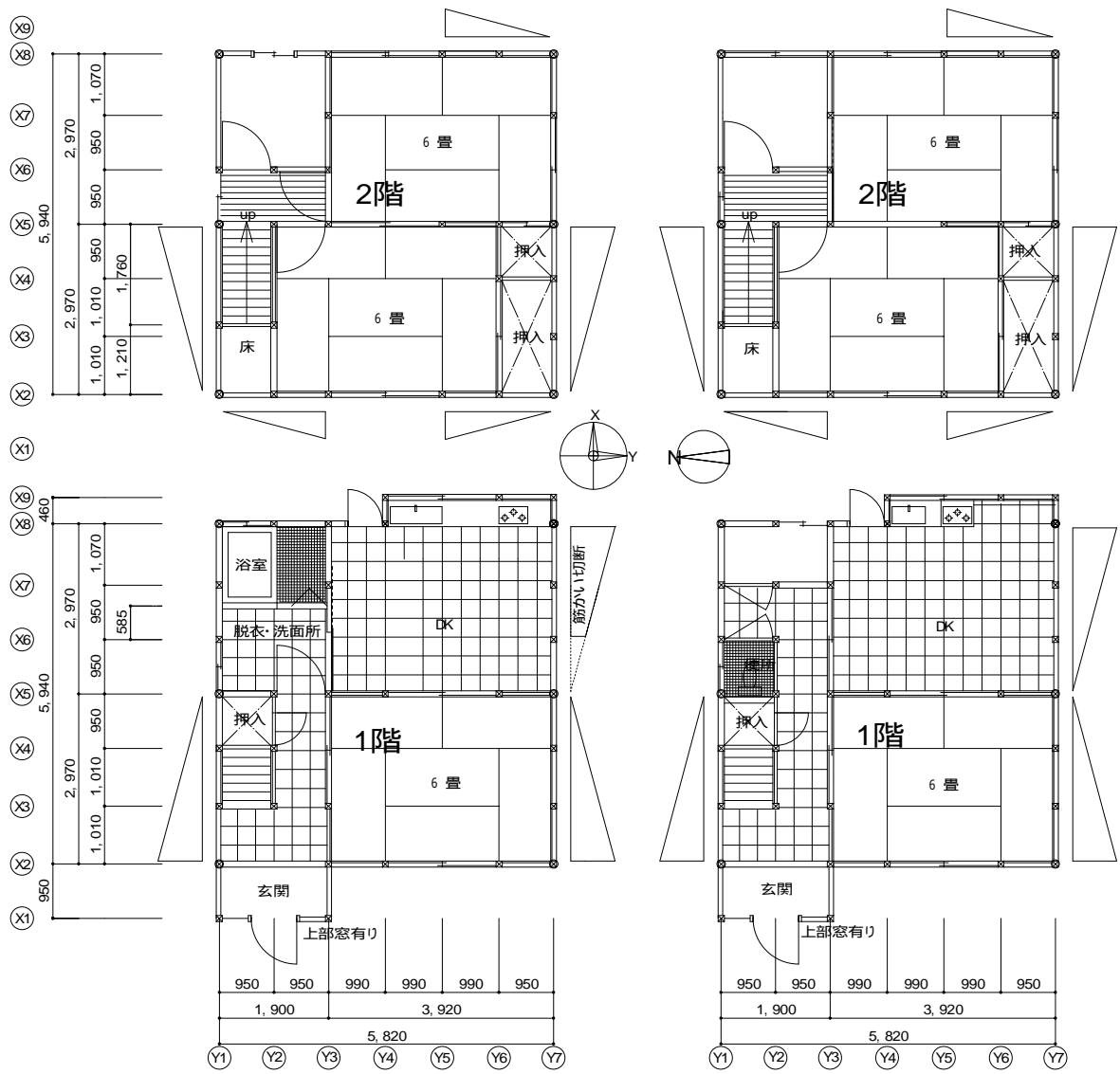


図4 平面図(左:A棟、右:B棟)  
B棟は補強前

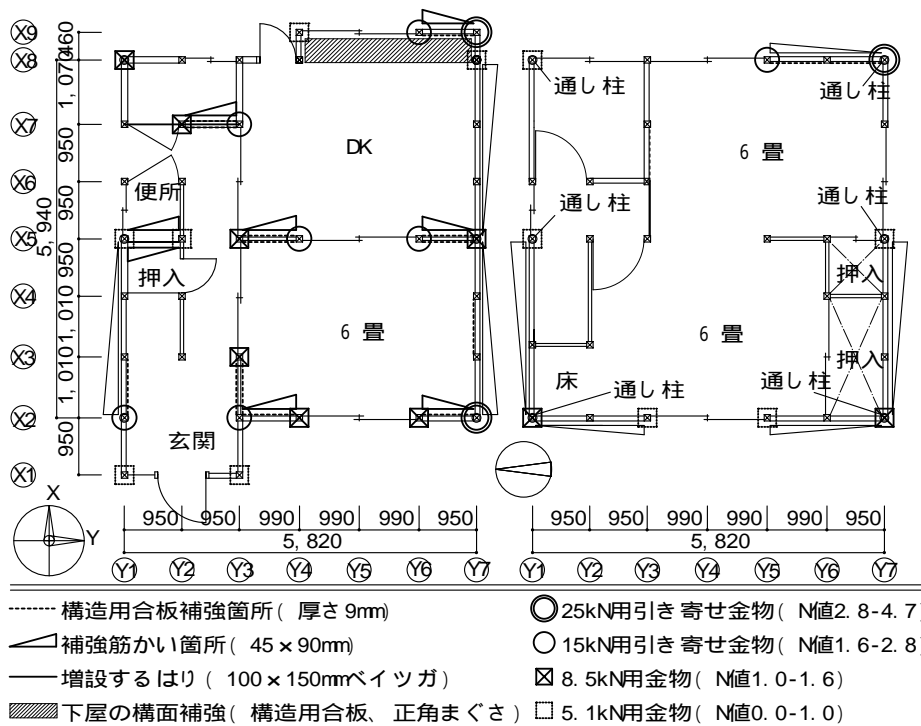


図 17 B棟補強箇所

A棟の1階がY方向に倒壊した。A棟のY方向1階の精密耐震診断値は0.43。B棟の補強前のY方向1階に関する診断値は0.31であったが、補強により1.57に向上していた。

費用 約110万円 (構造躯体のみ)

詳細については以下の成果報告書をご覧ください

平成17年度大都市大震災軽減化特別プロジェクト 耐震研究の地震防災対策への  
 反映 (平成17年度) 成果報告書 平成18年5月 33頁から44頁

[http://www.bosai.go.jp/sougou/ddt4-pj/DDT4/seika\\_h17.htm](http://www.bosai.go.jp/sougou/ddt4-pj/DDT4/seika_h17.htm)

文部科学省 研究開発局

独立行政法人 防災科学技術研究所